

# 第9期 pES club シナリオ 1

平成22年1月31日  
横浜市立市民病院 医療安全管理室  
五十嵐 俊  
東京北社会保険病院 総合診療科  
南郷 栄秀  
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学附属病院薬剤部に勤務する3年目薬剤師です。

麻比下佳緒さん(58歳女性)は現在、糖尿病で内科病棟に教育入院をしています。入院3日目の朝、右のまぶたが閉じにくいことに気付き、昼には口も動かさずの状態となったため、緊急に耳鼻科の診察を受けることになりました。診察の結果、右ベル麻痺と診断され、以下の治療薬が処方されました。

処方1

プレドニン (5mg) 12錠

分1 1日1回 朝食後 5日分

あなたは、糖尿病である麻比下さんがステロイドを使用したら血糖コントロールがますます悪くなってしまわないかと思い、主治医の楠力雷先生に尋ねました。

あなた「ベル麻痺と診断された麻比下さんですが、糖尿病がありますよね。プレドニンではなく、バルトレックスを投与した方がいいのではないのでしょうか」

楠力「何を言っているんだ、バルトレックスなんか効かないよ」

あなた「え？そうなんですか？ベル麻痺ってヘルペスウイルスの感染で起こりますよね。プレドニンなんて使ったら免疫が抑えられて、かえって悪くなってしまいませんか？しかも、血糖のコントロールも悪くなると思います」

楠力「全然分かっていないなあ。ベル麻痺の治療の基本はプレドニンだよ。女性なんだから、顔の筋肉が動かないままだと困るだろう。麻比下さんだって、こんな顔だと人前に出られないって気にしていたぞ。確かに血糖が高くなるだろうけど、その間はインスリンで対応するから大丈夫だよ。幸い、入院しているわけだし。それより、バルトレックスがベル麻痺に効かないのなんて常識だよ。もっとちゃんと勉強しといてよ」

あなた「すみません」

あなたは楠力先生に怒られてすっかり元気をなくしてしまいましたが、ベル麻痺の症状の改善にバルトレックスは無効で、プレドニンが有効だなんて信じられません。溢れ出る涙をこらえつつ、調べてみる事にしました。

# 第9期 pES club シナリオ 1 (追加シナリオ)

平成 22 年 1 月 31 日  
横浜市立市民病院 医療安全管理室  
五十嵐 俊  
東京北社会保険病院 総合診療科  
南郷 栄秀  
<http://spell.umin.jp>

麻比下さんのベル麻痺症状は現在、顔面右側の筋肉の脱力により右まぶたを閉じることができず、口の右半分が半開きの状態です。また、顔がややつっぱってしびれているような感覚があります。時折、後頭部の痛みを訴える事もあります。味覚異常はありませんが、食事はいささか困難な状況です。

麻比下さんは3年前に夫の会社の健康診断で高血糖を指摘され、およそ1年半前から海老田医科大学附属病院に通院しています。入院の1ヶ月前に外来で行った採血では、空腹時血糖 218mg/dL、HbA1c は 7.8%で、決してコントロールは良くありませんでした。以前から教育入院を勧められていましたが、仕事や家事との折り合いがつかず先延ばしにしていました。今回、楠力先生の粘り強い説得の甲斐あって、ようやく3日前に入院したところです。

麻比下さんは身長 153cm、体重 60kg で、入院時の空腹時血糖は 156mg/dL でした。精査の結果 2 型糖尿病と分かり、糖尿病性細小血管障害は、網膜症、腎症、神経障害とも合併しておらず、大血管障害もないことが分かりました。高血糖の原因として、食事の量が多く、バランスも取れていないこと、運動の習慣もなく、家事と週3回のパートを除くとほとんど体を動かしていないことが考えられ、入院直後から食事療法、運動療法が開始されました。薬物療法としてボグリボース (0.3mg) 3錠分3、食直前を内服していますが、OTC や健康食品、サプリメントなどは使用していません。

大きな病気や怪我の既往はなく、入院はこれまでに3回、すべて出産に伴うものでした。妊娠糖尿病の既往もありませんでした。

家族構成は夫と息子、飼犬1匹で、他に、結婚して独立した娘が2人います。

仕事はパートで図書館の事務員をしており、週3回、本の整理や受付業務を行っています。趣味は、パート仲間や近所の奥さんと平日ランチ(外食)をする事、犬の世話、韓国ドラマを見ることです。

麻比下さんは美味しいものに目がなく、友達とのランチを楽しみにしています。スイーツにも大変詳しく、娘が里帰りしてくる時には必ず話題のスイーツを取り寄せておくほどです。飲酒の習慣はありません。喫煙は、20歳の頃から1日10本で3年間続けていましたが、妊娠、出産を機に禁煙したそうです。

アレルギー歴は、自称機械アレルギーで、韓国ドラマの録画は息子頼みとのことです。またアルコール綿で発赤するため、アルコール消毒は禁です。

今の心配ごとは犬の世話、また、ビデオの録画を1週間分しか予約してこなかったことも気がかりで、早く退院して家に帰りたいそうです。でも、こんなゆがんだ顔のままだとお友達と出かけられないし、パートで人前に出ることもできないので、きちんと治して欲しいと話しています。日頃ストレスに感じているのは、大学4年生の息子の就職が決まっていないことだそうです。